

大矩・通り芯・水平全周ライン・鉛直十字・地墨ポイント

**LASERMAN**

高輝度ダイレクト  
グリーンレーザー墨出し器

Green Laser

フルラインモデル!!

フルラインからライン1本まで自由に選択可能な照射パターン  
(4V/4H)

ライン光明るさ3段階切替可能!!

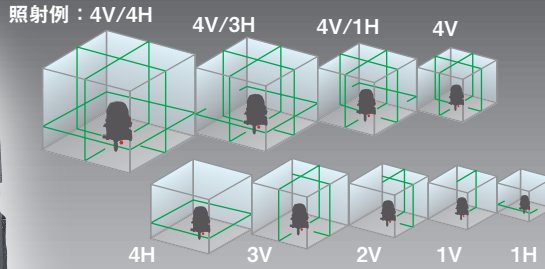


レーザー素子保護プログラム搭載

指示精度 ±1mm/10m

全周回転微調整装置付

1年間の盗難・火災補償付



**LPSP**  
LASER PROTECTION SYSTEM PROGRAM  
機械保護の観点から本器は高輝度モードにおいては最大5本ラインまでの照射に制限されています。安心してご使用いただける保護プログラムを推しています。



- 電源はアルカリ乾電池、専用リチウムイオン電池パック(付属)、ACアダプター(付属)に加え市販のUSBモバイルバッテリーも使用可能な 4WAY電源!!
- 防塵・防水 IP54相当で水やホコリに強い密封ボディ!!
- 省エネモード搭載で電池長持ち!!
- 全周回転微調整装置付で床墨、たち墨合わせが簡単!!

高輝度グリーンレーザー墨出し器 屋内・屋外兼用

**LVG-88** 標準価格：138,000円 盗難・火災補償付

JAN CODE：4528235 112177 (税込 151,800円)

標準付属品

- 専用乾電池ホルダ、専用リチウムイオン充電電池、レーザーメカネ、単3アルカリ乾電池×4(テスト用)
- 専用ACアダプタ、専用USBケーブル、レーザーターゲット、取扱説明書、専用収納ケース

ラインの見にくい屋外や明るい場所でも墨出し作業可能!!



LVG-88 対応受光器(別売) 受光距離：約25m

**GLR-8** 標準価格：28,000円

JAN CODE：4528235 114102

- サイズ/質量：51×150×27mm / 100g (電池含まず)
- 付属品：積層9V乾電池(テスト用)×1、専用バイス、ストラップ
- 検出距離：約1.5m～最大約25m (但し、レーザーライン中央付近、使用環境により異なる)
- 検出精度：±1.0mm
- 受光指示：LED及びブザー音
- 電源タイマー：約10分後オートパワーオフ 専用バイス付
- 使用温度範囲：-10℃～+40℃ 結露なきこと

レーザー照射光	光源	緑色半導体レーザー・赤色半導体レーザー(下部ポイント光)		
	波長	515～530nm、650～660nm(下部ポイント光)		
	光出力	5mW以下(JIS C6802:2014クラス2)		
	ライン幅	4mm以下/10m		
	ライン投射角	垂直ライン光130°、水平ライン光110°		
	下部ポイント径	φ2.5mm/3m		
	パルス幅/周波数	50μs/10kHz ±10%、25μs/10kHz ±10%		
	ライン光切替モード	水平：5モード(モード記憶機能付)		
	メモリー機能付き	垂直1：3モード切替、垂直2：3モード切替		
	ライン光明るさ切替とLED表示	3モード：受光器(消灯)→高輝度(点灯)→省エネ(点滅) 電源投入時は受光器モードよりスタート		
	指示方式	ジヤバル機構による自動補正方式		
	鉛直指示範囲	±2.5°(範囲外はライン光が消灯およびブザー音吹鳴)		
	制動方式	マグネットダンパー方式		
	精度	水平・垂直：±1mm/10m、おおよね：90°±0.01°		
	電源	専用リチウムイオン充電電池、単3アルカリ乾電池(LR6/1.5V)×4本 専用ACアダプター(AC100V-DC5V) 市販のUSB端子付バッテリー(出力DC5V1.5A以上)		
	バッテリー低下警告	LED(緑色)点滅/バッテリー切れはレーザー光消灯		
連続使用時間	4V1H時	ライン光明るさ	リチウムイオン電池時	乾電池使用時
		省エネモード	約15時間	約8時間
	4V4H時	受光器モード	約10時間	約4時間
		高輝度モード	約5時間	約1時間
	省エネモード	約11時間	約4時間	
	受光器モード	約5.5時間	約2時間	
	その他の機能	ライン光切替モードのメモリー開放、ブザーOFF機能		
	使用温度範囲	-10℃～+40℃		
	防塵防水性能	保護等級IP54相当		
	寸法/質量	φ94×高さ185mm(突出部を除く)/1.0kg(乾電池含む)		
	三脚取付ネジ	W5/8(測量機器取付用ネジ)		

※LVG-88は水しぶきからは保護されますが雨天時の使用、特にレーザー照射ガラスや受光窓に水滴が付くと正しくレーザーを照射及び受光できません。必ず照射ガラスや受光窓の水滴を拭き取ってからご使用ください。  
警告：ルーペ、拡大鏡、顕微鏡及び望遠鏡、双眼鏡などの光学器具を用いてレーザー出力を観察すると、目に危険を及ぼす場合があります。ビームを覗き込まないこと。